

人形のまち岩槻
まちかど雛めぐり

2月24日(土)〜3月11日(日)

岩槻「まちかど雛めぐり」で
老舗四軒が
「つるし雛」の
コラボレーションを
特別企画

「つるし雛」と「老舗」の
コラボレーション



城下町として、また宿場町として賑わった岩槻は、日光東照宮の造営にあたった工匠たちが、そのまま足を留めて人形作りを始めたといわれています。それは現在も代表的産業として連綿と受け継がれています。

また城下町としても、お殿様の菩提寺やお墓が多く残っております。寺院街は形成していませんが市街の散策出来る範囲にあります。ぜひ、この機会に「つるし雛」と「老舗」のコラボレーション、市内の寺社めぐりもお楽しみください。

◆ 展示会場 ◆

鈴木酒造／酒蔵資料館



酒造り最適な米と水で、酒を造って百四十年
日光東照宮の造営にあたった工匠たちが見いだした名水と山田錦にほれこみ、伝統を大切に作る風土の中で、昔ながらの手作りの良さを生かし熟練の杜氏たちが細心努力で酒造りしています。

陶わた忠



暮らしを豊かにを目指して二百年
創業寛政年間、今から二百年前。「わた忠」の屋号の通り綿花の仲買業でした。時代と共に事業を変遷しながら商いを続け、現在は暮らしを豊かにする器と和のインテリアのお店です。

赤レンガ造りの大正館



登録有形文化財建築のギャラリー
大正年間に旧中井銀行岩槻支店として2階建て建設されました。奥には金庫室として使われた部屋も残っています。現在は、展示ギャラリーとして活用しています。

料亭 ほてい家



岩槻城大手門を再現した江戸時代創業の料亭
江戸時代創業の老舗料亭です。かつて「布袋屋」と書き、岩槻藩主大岡家中の江戸藩邸詰めの家臣が岩槻に来ると布袋屋でもてなされたと「日記」に記された、現在に続く伝統と格式を受け継ぐ名料亭。

東玉人形の博物館



創業百六十年雛匠東玉が収集した人形を展示
季節ごとにテーマを変えて、人形の歴史を展示。江戸時代からの御所人形、ひな人形、操り人形などから現代の名匠の作品を展示。館内には茶室も併設しています。

